

宮津市教育委員会 人権視聴覚教材(DVD)一覧

No.	作品名	題材	備考	時間	企画	内容
111	「未来への虹 —ぼくのおじさんはハンセン病—」 DVDアニメ (平成17年度作品)	ハンセン病	文部科学省 特別選定	30分	(財)人権 教育啓発 推進セン ター	ハンセン病元患者の平沢保治さんをモデルにして描かれた子ども向けの本「ぼくのおじさんは、ハンセン病 平沢保治物語」をもとに、小学校高学年以上の方に見てもらうために作られた作品です。 平沢さんは、この作品の中で、これからの未来を担う子どもたちに、差別の痛みや苦しみ、帰りたくても帰れないふささへの想い、そして「人権」の大切さを語りかけています。
127	「体験!発信!チャレンジストーリー ～まちづくりにかける元気な女性たち～」 DVD (平成17年度作品)	女性参画		87分	内閣府男 女共同参 画局	コミュニティショップの運営やNPO活動などのまちづくりに取り組む女性たちへのインタビューをとおして、女性のチャレンジを考えます。 紹介例①滋賀県栗東市(NPO法人びいめ～企画室)②熊本県宇城市(風の会)③京都府舞鶴市(NPO法人舞鶴市女性センターネットワークの会)
110	「桃色のクレヨン」 DVDアニメ (平成18年度作品)	子ども・いじめ	文部科学省 選定	28分	(財)人権 教育啓発 推進セン ター	知的障害のいとこのふれあいを通じて大切なことに気付いていく主人公の姿をテーマにしており、子どもと大人が一緒に見て楽しめ、少しほろっときて、それでいて心が温まる作品です。 たぶん、あなたにも大切なことをいっぱい気付かせてくれるはずです。
109	「見上げた青い空」 DVD (平成19年度作品)	子ども・ネット いじめ	文部科学省 選定	34分	(財)人権 教育啓発 推進セン ター	いやがらせメール、プロフ、掲示板。このDVDは、匿名性が高いネット時代の巧妙かつ残酷ないじめの現実、そして、いじめられる側もいじめる側も苦しんでいる“いじめ”の本質を直視していただき、あらためて“いじめ”について考えていただくきっかけになることを企図して作成されました。 ご覧になった方の一人一人に、人ごとではなく自らの問題としての「気付き」があることを願っています。
112	「社会福祉施設等における人権 私たちの声が聴こえますか」 DVD (平成19年度作品)	高齢者	文部科学省 選定	30分	(財)人権 教育啓発 推進セン ター	「ひとり芝居」(施設職員編・入所者編)を中心に、施設職員の人権意識を高める必要性・手法等に関する専門家へのインタビューや、人権意識を高める取組として実際に施設内で行われた人権啓発活動を紹介しています。 「どんな行為が入所者の人権を侵害する行為に当たるのか」ということが自然に理解されるような構成になっており、施設の運営に人権の観点が必要であることを強調しています。
114	「めぐみ(北朝鮮による日本人拉致 問題啓発アニメ)」 DVDアニメ (平成19年度作品)	拉致	文部科学省 特別選定	25分	政府 拉致 問題対策 本部	昭和52年、当時中学1年生だった横田めぐみさんが、学校からの帰宅途中に北朝鮮当局により拉致された事件を題材に、残された家族の苦悩や、懸命な救出活動の様を描いたドキュメンタリー・アニメです。
108	「同和問題と人権 —あなたはどうか考えますか—」 DVDアニメ (平成20年度作品)	同和問題	文部科学省 選定	28分	(財)人権 教育啓発 推進セン ター	会社でセクハラなどの人権問題を担当する主人公が、両親の体験を聞き、部落差別、同和問題について知識を深めていく…。同和問題について考えるアニメーション作品です。

宮津市教育委員会 人権視聴覚教材(DVD)一覧

No.	作品名	題材	備考	時間	企画	内容
130	「じんけんの森の大冒険」 コンテンツDVD (平成20年度作品)	人権			(財)人権教育啓発推進センター	幅広い年代の方々に学んでいただくために、法務省人権擁護局と財団法人人権教育啓発推進センターが企画したコンテンツ教材です。人権課題についての解説のほか、人権クイズやゲームを楽しむことができます。
120	「ちょっと待って、ケータイ被害者にも加害者にもならないために―」 DVD2枚組 (平成20年度作品)	青少年		各30分	(財)日本視聴覚教育協会	『メール依存』、『プロフの危険性』など、携帯電話をカイしての有害情報がどのようなものであるのか、それが子どもたちにとっていかに危険であるのかを子ども及び保護者に対して意識啓発を促すために制作されました。 DISC.1子ども向け「ちょっと待って、ケータイ被害者にも加害者にもならないために―」 DISC.2保護者向け「ケータイに潜む危険―子どもの携帯電話を考える―」
121	「ちょっと待って、ケータイ2ルールとマナーを守ろう―」 DVD2枚組 (平成21年度作品)	青少年		各32分	(財)日本視聴覚教育協会	子ども向け・保護者向けともに、①ケータイ依存②個人情報の流出③コミュニティサイトの危険性④ネットいじめの4テーマをドラマ展開で取り上げています。 DISC.1子ども向け「ちょっと待って、ケータイ2ルールとマナーを守ろう―」 DISC.2保護者向け「ケータイに潜む危険2―子どもをケータイから守るために―」
113	「人権のヒント(地域編) 『思い込み』から『思いやり』へ」 DVD (平成22年作品)	人権	文部科学省選定	25分	東映(株)教育映像部	街の喫茶店「カフェ・ヒューマンライツ」のママのところさまざな思いを抱いた人々が集ってくる。その交流の中から、それぞれの違いを思いやる心の大切さを理解していく内容です。DV、障がいのある人の人権、アサーティブ、同和問題、外国人の人権。
119	「情報化社会の新たな問題を考えるための教材～安全なインターネットの使い方を考える～」 DVD (平成25年度作品)	青少年		静止画像	(株)情報通信総合研究所	長時間利用による生活習慣の乱れや不適切な利用によるいわゆる「ネット依存」や、ネット詐欺・不正請求などの「ネット被害」、SNSによるトラブルなど、情報化の進展に伴う新たな問題について、教員が指導する際に役立つ児童生徒向けの動画教材とモデル指導案です。
129	「FUKUSHIMAから考えるシリーズ① 誇り―差別といじめは越えられる―」 DVD (平成25年作品)	震災・風評被害		30分	東映(株)教育映像部	震災と津波…。そして更に原発事故と風評被害が福島県を襲いました。いまま福島県は試練の中を生きています。それは、風評被害という名の差別や偏見を生み出す人々の心のしくみを家徴しています。本作品は、福島県の人々が経験した事実をもとに、差別やいじめを考えるものです。
116	「企業活動に人権的視点を―CSRで会社が変わる・社会が変わる」 DVD (平成26年度作品)	職場		103分	(財)人権教育啓発推進センター	企業活動にCSR(企業の社会的責任)や人権視点を取り入れている組織の経営者や関係の皆様へのインタビュー、実際の取り組みの様子、従業員や地域の人々の声などを紹介するドキュメンタリーです。障害者雇用・高齢者雇用・ワークライフバランス・継続的な震災復興支援・人権に関する社会貢献等を紹介しています。

宮津市教育委員会 人権視聴覚教材(DVD)一覧

No.	作品名	題材	備考	時間	企画	内容
118	「未来を拓く5つの扉～全国中学生人権作文コンテスト入賞作品朗読集～」 DVD (平成26年度作品)	人権		46分	(財)人権教育啓発推進センター	全国中学生人権作文コンテストでは、次代を担う中学生が、身の周りで起きたいろいろな出来事や自分の体験などから人権について考えています。このDVDでは、入賞作品の中から5編の作文を朗読して、アニメーションやイラストで紹介しています。中学生が作文の中でつぶやいている言葉に、あなたも耳を傾けてみてください。
132	人権アーカイブ・シリーズ 「同和問題～未来に向けて～」 DVD (平成26年度作品)	同和問題		31分	(財)人権教育啓発推進センター	我が国固有の人権問題である同和問題に焦点を当て、国や地方公共団体、企業等のさまざまな団体における人権教育・啓発に携わる職員等が身に付けておくべき同和問題に関する歴史的経緯、当時の社会情勢、問題の本質等について、関係者の貴重な証言や解説等を中心に分かりやすくまとめています。また、一般市民を対象とした、啓発現場においても使用できる有効なツールとしての映像も併せて制作し、同和問題の解決のために次世代へ伝承するものです。
117	「国際連合創設70周年記念 すべての人々の幸せを願って ～国際的視点から考える人権～」 DVD (平成27年度作品)	人権		35分	(財)人権教育啓発推進センター	世界人権宣言及び国際人権諸条約が自分たちの身近にある人権問題とどのように関わっているかを国際的な視点から考えるために、女性・子ども・障害のある人・外国人の4つの人権課題と関連する条約を紹介し、資料映像や写真、事例の再現ドラマなどで紹介しています。
122	人権アーカイブ・シリーズ 「ハンセン病問題～過去からの証言、未来への提言～」 DVD (平成27年度作品)	ハンセン病		56分+ 20分	(財)人権教育啓発推進センター	ハンセン病問題に焦点を当て、国や地方公共団体、企業等の人権教育・啓発に携わる職員等が身に付けておくべきハンセン病問題に関する歴史的経緯、当時の社会情勢、問題の本質等について、関係者の貴重な証言や解説等を中心に分かりやすく簡潔にまとめています。また、広く一般市民を対象とした啓発現場においても使用できる有効なツールとなる映像も併せて製作し、次世代へ伝承しようとするものです。
128	(公益財団法人)京都府犯罪被害者支援センター広報	犯罪被害者			(公社)京都府犯罪被害者支援センター	犯罪被害者の状況「ひとりで悩まないで」、犯罪被害者支援センターとは「社会全体で被害者を支える」、犯罪被害者を市民の力で支える「広がる支援の輪」
123	「あなたが あなたらしく生きるために性的マイノリティと人権」 DVD (平成28年度作品)	性的マイノリティ		30分	(財)人権教育啓発推進センター	性・セクシュアリティはとても多様です。しかし、それをしっかり理解している人はごくわずかで、性的マイノリティの方々の多くが生きづらさを感じています。誰もがありのまま受け入れられ自分らしく生きる社会を実現させるためには、まず相手を正しく理解し、偏見や差別をなくす必要があります。この教材は、性的マイノリティについて人権の視点で理解を深めるのがねらいです。性的マイノリティの入門編としてご活用ください。
124	「外国人と人権 違いを認め、共に生きる」 DVD (平成28年度作品)	外国人		33分	(財)人権教育啓発推進センター	我が国に入国する外国人の増加に伴い、言語、宗教、習慣等の違いから、外国人をめぐる様々な人権問題が発生していることから、こうした状況を改善するため、人権啓発担当者の研修や一般市民を対象とする人権教室等において使用することにより、外国人の人権に関する理解や関心を深めることを目的としています。

宮津市教育委員会 人権視聴覚教材(DVD)一覧

No.	作品名	題材	備考	時間	企画	内容
125	「インターネットと人権 加害者にも被害者にもならないために」 DVD (平成28年度作品)	インターネット		30分	(財)人権教育啓発推進センター	インターネット上の人権やプライバシーの侵害につながる行為は後を絶たず、近年特にネットいじめや子どもたちをターゲットとした犯罪が大きな社会問題となっています。本DVDは、主に中高生やその保護者、教職員を対象に、インターネットを利用する上での危険性や、安全な利用法・対策について、分かりやすくまとめています。
126	「わたしたちが伝えたい、大切なこと～アニメで見る全国中学生人権作文コンテスト入賞作品～」 DVDアニメ (平成28年度作品)	人権		31分	(財)人権教育啓発推進センター	全国中学生人権作文コンテスト入賞作品を原作として3つのアニメーションを通して「人権ってなんだろう」と、自分自身の問題として考えてもらうことを目的としています。外国人問題、障害者スポーツ、障害者理解を題材とする3作品はどれも、日常生活の中で「人権」について理解を深めていった気持ちのプロセスを描いています。
131	「人権啓発は企業にどんな力をもたらすのか」 DVD (平成29年作品)	職場		25分	東映(株)教育映像部	いま、企業は利潤追求という価値観だけでなく、社会にとって責任ある存在であるという立場が求められています。そのために、企業内で人権啓発の必要性が高まっています。そこで、この作品では、企業に働く人が人権の視点を取り入れて仕事に関わっていくことが企業にどんな力をもたらすかということ、ドラマ形式で事例をとりあげながら考えていきます。
133	「企業と人権 職場からつくる人権尊重社会」 DVD (平成29年度作品)	職場		40分	(財)人権教育啓発推進センター	近年、長時間労働による過労死、セクハラやパワハラなどのハラスメント、さらには様々な差別に関わる問題などが社会の注目を集めています。本DVDは、企業がなぜ人権に取り組む必要があるのか、企業に関わる主な人権課題はどのようなものがあるのか等について、対処のポイントや先進事例を含め、分かりやすく解説しています。
135	「障害のある人と人権 誰もが住みよい社会をつくるために」 DVD (平成30年度作品)	障害者		33分	(財)人権教育啓発推進センター	ユニバーサル社会とは、障害の有無にかかわらず、女性も男性も、高齢者も若者も、全ての人がお互いの人権や尊厳を大切に、支え合い、誰もが生き生きとした人生を享受することのできる社会のことです。障害のある人もない人も誰もが住みよいユニバーサル社会をつくるためにはどうしたら良いのでしょうか。このDVDは、障害のある人が直面する人権問題やその問題を解決するための取組などを具体的に紹介し、「障害のある人と人権」について考えます。
136	お互いを活かすための人権シリーズ②「ハラスメント・しない、させないための双方向コミュニケーション」 DVD	職場		26分	東映(株)教育映像部	いま、企業にとってハラスメントを防止することはとても大きな課題になっています。ハラスメントを防止するため、自分にも、思い込みや偏見があるかもしれないことを自覚し、互いのコミュニケーションのズレを修正していく双方向のコミュニケーションの形を提案する作品です。
136	「君がいるから」 DVD (平成30年度作品)	子ども・若者の人権	文部科学省選定	34分	東映(株)教育映像部	母親からの心理的虐待に悩む若者が主人公です。生き方を制限され、自分が愛されていると感じることができず自己肯定感の低い主人公も、コンビニエンスストアを舞台とした「ほんの小さな冒険」をきっかけに少しずつ変わっていきます。そこで出会う人々とのふれあいを通じて、新たな価値観に気付いていきます。ともに心を通わせ、信頼することの先に「希望」と「幸せ」があることを主人公の成長を通して描きます。